

バイオレッタ ソーラーギア VS12-B200LIM-300 電池格納部

取扱説明書

このたびは、モバイル太陽電池「バイオレッタ ソーラーギア」をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。本製品と併用いただく付属品および別売品についても、ご使用前に、取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

製品概要

防水・防塵仕様の汎用可搬型太陽発電システム用リン酸鉄リチウムイオン電池格納部です。薄型軽量で高効率の太陽電池パネルと、小型軽量で耐候性の高い電池格納部の組み合わせにより、高度な汎用性、拡張性、可搬性、耐候性、耐久性を低価格で実現し、家庭のベランダから極地に至る、世界中のあらゆる場所で、防災対策用、業務用、レジャー用、日常用など、様々な用途に活用できる、メンテナンスフリーの屋外電源です。

主な機能

太陽光で内蔵のリン酸鉄リチウムイオン電池を充電し、AC100V正弦波（コンセント、防水・防塵コネクタ）、DC12V（充放電コントローラー・負荷端子、防水・防塵コネクタ）から出力することにより、各種モバイル機器をはじめとする、幅広い電気機器に給電できます。LED照明などのDC12V入力機器に給電するときは、日没とともに運転を開始し、日の出とともに停止する、夜間自動運転を設定することもできます。

主な特長

- 内圧調整機能付きで安全な、保護等級IP67防水・防塵仕様の米国ペリカンケースを採用しています。持ち運びに便利な伸縮ハンドルとキャスター付きです。
- 4000サイクル以上の充放電が可能な、長寿命リン酸鉄リチウムイオン電池を内蔵しています。
- 充電不足による蓄電池の過放電を防ぐ、自己消費電流わずか2mAの電変製超小型充放電コントローラーを内蔵しています。負荷の夜間自動運転機能を備えていますので、LED照明などDC12V入力機器に接続するだけで、夜間自動点灯式照明装置が完成します。
- AC100VコンセントとAC100V端子を備えた、静音で省電力の電変製300W正弦波インバーターを付属しています。蓄電池の電圧と出力電力をLED表示します。
- 本製品、太陽電池パネル、「延長ケーブル」、「AC100V出力ケーブル」、「DC12V出力ケーブル」、「DCパワーケーブル」は、保護等級IP68防水・防塵仕様のコネクタで接続されますので、天候にかかわらず屋外設置ができます。
- 付属の「AC100V出力ケーブル」でAC100V入力機器に防水・防塵出力ができます。
- 別売りの「DC12V出力ケーブル」は、保護等級IP68防水・防塵仕様のコネクタで接続されますので、天候にかかわらず屋外設置ができます。
- 別売りの「DCパワーケーブル」で本製品同士を接続して、給電容量を倍増することができます。

安全上のご注意

危険 取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

Ⓢ：行為を禁止する記号です。 Ⓡ：行為を強制する記号です。

危険 以下のことを必ずお守りください。ケガ、やけど、本機の発熱、発火、破損、内蔵電池の液もれ、発熱、発火、破裂の原因となります。

- Ⓢ 指定の充電式電池以外は充電しない。
- Ⓢ 金属物を入出力端子に接触させない。
- Ⓢ 内圧調整弁を被覆しない。
- Ⓢ ショート、分解、改造をしない。
- Ⓢ 水に入れない。
- Ⓢ 火気に近づけない。
- Ⓢ 密閉空間で使用、保管しない。
- Ⓢ 高所の落下しやすい位置で使用しない。
- Ⓡ 電池から液がもれたときは、充電を中止する。
- Ⓡ 電池が高熱を発したときは、充電を中止する。

使用上のご注意

本製品との併用によるご使用機器の破損、データ内容の消失、事業の中断、事業機会の逸失等により生じた損害に関して、当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承のうえ、ご使用ください。

主な仕様

- 内蔵蓄電池：* RBT100LFP12S リン酸鉄リチウムイオン電池X2
- 公称容量*：* 2400Wh (12V 200Ah)
- サイクル寿命*：* 充放電4000サイクル
- 最大出力：* 300W (AC100V出力時)
- * 20A (充放電コントローラーDC12V出力時)
- * 17A (DC12V防水・防塵コネクタ出力時)
- 使用周囲温度（充電）**：* -10～50℃
- 使用周囲温度（給電）**：* -15～50℃ (AC100V出力時)
- * -15～60℃ (DC12V出力時)
- 外形寸法（幅X奥行きX高さ）：500X305X457mm
- 重量：* 約32.4kg（付属品を含む）
- 入出力端子：* IP68防水・防塵カバー付コネクタX1
- 出力端子：* IP68防水・防塵カバー付コネクタX1
- AC100VコンセントX1（付属インバーター）
- DC12V充放電コントローラー・負荷端子X1
- 保護回路：* 電変 SA-BC20 充放電コントローラー
- * 短絡防止用20AヒューズX2
- 付属品：* 電変 GD300NA-112 300W正弦波インバーター
- * AC100V出力ケーブル X5m

*周囲温度 25℃ 放電レート 0.2C 80%DOD **ただし、氷結しないこと

各部の名前



ご使用方法

太陽電池パネル・AC充電器の接続方法

- 1 いずれかの防水・防塵コネクタに、太陽電池パネルまたは別売りのAC充電器を接続します。コネクタのカバーを反時計回りに緩めて取りはずし、▲印を合わせコネクタ同士を嵌めさせたら、リングを時計回りに指でしっかり締め付けてください。

※注意 ケーブルを軽く引っ張り、抜けないことを確認してください。



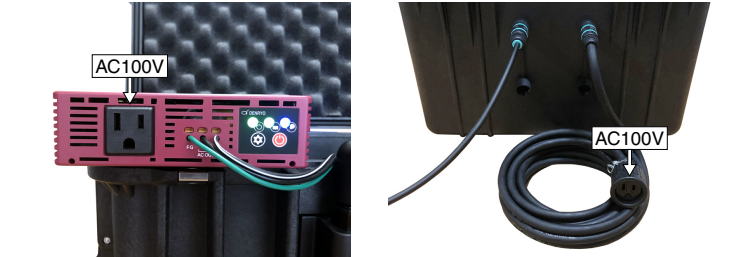
- 2 バッテリーモニターの電源ボタンを押して、内蔵蓄電池を稼動モードに変更します。液晶ディスプレイのバックライトが点灯し、電池電圧が表示されるのを確認してください。

内蔵蓄電池の充電方法

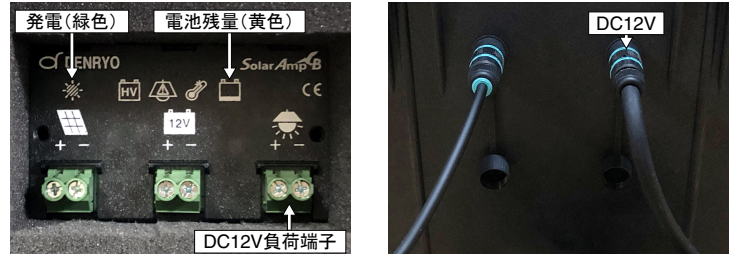
- 1 太陽電池パネルに太陽光を当て、内蔵蓄電池を充電します。太陽電池パネルを柵や地面に固定するためには、スキャン、結束バンドやアウトドア用ベグなどをご使用ください。太陽電池パネルを太陽の方位に向け、パネル面の角度を入射光と垂直に近くなるように固定すると、効率よく充電できます。夜間や悪天候のときは、AC充電器で充電してください。

電気機器への給電方法

- 1 雨天の屋外以外でAC100V入力機器に給電するときは、本製品の蓋を開け、付属のインバーターの電源を入れてから、機器のプラグをインバーターのコンセントに接続します。AC100V入力機器に防水・防塵出力するときは、本製品の蓋を閉めたまま、付属の「AC100V出力ケーブル」を本製品右側の防水・防塵コネクタに接続し、加工した片端を機器に接続します。



- 2 DC12V入力機器に防水・防塵出力するときは、本製品の蓋を閉めたまま、別売りの「DC12V出力ケーブル」を本製品右側の防水・防塵コネクタに接続し、加工した片端を機器に接続します。夜間自動運転を有効にするには、防水・防塵コネクタへのケーブルを蓄電池から取りはずし、充放電コントローラーの負荷端子に接続します。



- 3 太陽電池による充電状況と蓄電池の電池残量を確認するためには、バッテリーモニターの液晶ディスプレイ、充放電コントローラーまたはインバーターのLED表示を参照します。詳しくは、各機器の取扱説明書をご参照ください。
- 4 AC100V入力機器への給電完了後は、インバーターの電源を切ってから、機器をインバーターのコンセントまたは防水・防塵コネクタから取りはずします。DC12V入力機器への給電完了後は、機器を防水・防塵コネクタから取りはずします。
- 5 給電完了後は、過放電防止のため、バッテリーモニターの電源ボタンを3秒以上押して、内蔵蓄電池を休眠モードに変更します。液晶ディスプレイのバックライトが消灯することを確認してください。防水、防塵、ショート防止のため、本製品の蓋を開け、防水・防塵コネクタのカバーを装着してください。
- 6 別売りの「DCパワーケーブル」で本製品同士を接続して、給電容量を倍増することができます。消費電力が200W～400Wの機器に給電するときは、2本使用します。

メンテナンスについて

- 内蔵蓄電池は、過放電を避けるため、使用後は必ず休眠モードに変更してください。また、充放電コントローラーの低電圧警告が表示されているとき（黄色のLEDが点滅または点灯）は、速やかに充電してください。そうでない場合でも、半年に1回以上は充電してください。電池が過放電により使用不能になった場合は、保証の対象外のため、有償交換が必要です。
- 内蔵蓄電池の寿命は、使用環境により大きく異なります。給電可能な時間が著しく短くなったときに交換してください。
- 本製品の汚れは、乾いた布または水に濡らした布で拭き取ってください。洗剤、ベンジン、シンナーなどでお手入れしないでください。

保証期間

- お買い上げ日より1年

株式会社 太陽工房

〒141-0021 東京都品川区上大崎2-10-34 シティコート目黒1-101
Tel: 03-5423-6801 Fax: 03-5423-6802 E-mail: support@violetta.com

www.violetta.com

本製品の仕様および外観は、改良のため予告なしに変更することがあります。

Assembled in Japan 20-09-01